9.4　第2回　国際反帝集会に結集せよ!!

スローガン

安保粉砕／佐藤NATO打倒／自国帝国主義打倒／ベトナム革命／ソンガー世界革命／ニクソン政権打倒／ジン戦争勝利／キ一命

＜全都の労働者、学生、市民の皆さん！＞

アメリカではブラック・パンサーを先頭として武装蜂起の萌芽的斗争が全米に拡大し、ヨーロッパでは、フランス五月革命の流産の後、西ドイツ非常事態法反対斗争、イタリア反ATO反ニクソン斗争を経て、再度、全欧に革命戦争への渦が拡がりつゝある。

アジアでは、日本の今秋佐藤訪米阻止斗争、南朝鮮の朴三選阻止斗争を両軸に、アジア危機の一挙的煮つまりから、アジア革命戦争の現実的条件が整いつゝある。

更に、チェコを中心に「労働者国家」内部においても、新たに再編された階級斗争の奔流が噴出し始めている。

世界第三ブロックに亘る新たな高揚と、ラセンを描いて相互に強化し合う世界階級斗争の構造が、今、まさに、世界革命戦争を準備し、それを領導し抜き、世界共産主義を実現する、世界共産党を緊急に必要としている！

既に、八月から東京にて開催されている第二回国際反帝会議は、以上の世界情勢の要請する世界党実現のためのワンステップとして、更には今秋の日本における安保前段決戦を先頭とした、米――日――西独の反革命枢軸ラインにおける自国帝国主義打倒――革命斗争の同時的勝利的展開を今から保証する戦略的意志統一の場として、世界史的意味を担い白熱し密集した討議を続けている。

＜全都の労働者、学生、市民の皆さん＞

われわれは、昨年の八・三国際反戦集会の成果を踏え、更には、以降一年余の世界革命戦線の激動から学んだものを、一切集約し、爆発させるために、国際反帝集会の中から、九・四国際反帝集会を準備して来た。そしてその場で、帝国主義心臓部における最も鋭烈な斗いを打ち抜いて来た四つの革命的組織（共産同――ブラック・パンサー――米SDS――西独SDS）による、今秋の決戦に向けた固い意志一致を獲ち取って行こうではないか！

＜全都の労働者、学生、市民の皆さん＞

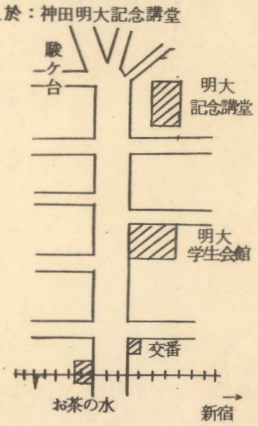
今秋安保決戦は、10、11月佐藤訪米実力阻止―日帝政治危機―帝国主義同盟粉砕――70年代階級決戦――へと連続的に発展し、同時に、10月全ヨーロッパNATO粉砕斗争、11月アメリカ反ニクソン反安保佐藤訪米拒否斗争へと結合するものであり、更には、南朝鮮改憲阻止斗争と密着して斗われる。

ここにおいては、まさに、われわれが十・八羽田斗争において築き堅持してきた「プロレタリア国際主義」の有効性が問われるのである。九・四国際反帝集会は、われわれの実践的な「プロレタリア国際主義」を再確認し、今秋決戦にその質を持ち込んで行くための具体的な契機である。最大限結集を！　そして自らのプロレタリア国際主義の再検証を！

第二回国際反帝集会東京実行委員会
（明大学館4階　TEL　293―9633）

―＜集会要項＞―

時：9月4日午後3時
於：神田明大記念講堂

第一部　3.00～6.00
① 基調報告
② 各戦線報告
③ 映画上映
（仏五月革命，コロンビアバークレイバリケード斗争の記録BPPデモンストレーション）

第二部　6.00～9.00
④ 外国代表報告
BPP．SDS（U．S & W．G）
⑤ 集約
⑥ 決議・アピール